

# 9月9日は「救急の日」です!

救急車の適正利用に協力してください



## 本当に救急車が 必要ですか?

平成19年中の三原市消防署管内の救急件数は、3,735件で、1日平均10回以上出勤したことになります。年々増加する救急件数の中で、救急車の不適切な利用が問題となっています。

## 救える命を救うために

平成18年の消防に関する世論調査によると、救急車を呼んだ理由には「生命の危険があると思った」や「自力で歩ける状態ではなかった」など、適切なものもありますが、中には「救急車で病院に行ったほうが優先的に診てくれると思った」や「交通手段がなかった」などの回答もありました。救急車は「緊急に医療機関へ搬送を要する人」のもので、緊急性がない

のに要請すると、本当に救急搬送を必要としている人が利用できず、救える命が救えなくなるおそれがあります。緊急性がなく、自分で病院に行ける場合は、救急車以外の交通機関などを利用してください。

## どこに連絡したらよいか 分からないときは

前述の調査で「夜間・休日で診察時間外だった」や「どこの病院に行けばよいか分からなかった」という回答がありました。夜間・休日の診療を行なっている病院もあります。消防署でも24時間案内を行なっていますので、問い合わせてください。

問い合わせ先 消防署警防課(☎08482101 FAX08485119)

## 普通救命講習会

応急手当ての正しい知識と技術を身につけるための救命講習を行なっています。ぜひ一度、受講しましょう。

とき 9月7日(日)9時~12時

受付期間 9月6日(土)まで

ところ 消防署講堂、西部分署、北部分署

内容 心肺蘇生法、止血法など

資料代 500円

申し込み・問い合わせ先

消防署警防課(☎08482101)、西部分署(☎08482119)、北部分署(☎08473737)

## ともにつくろう

# 災害に強いまち三原

9/6(土) 14時~17時

## 市民協働のまちづくり フォーラム



講師 中村順子さん  
(NPO法人コミュニティサポートセンター神戸 理事長)  
プロフィール 阪神淡路大震災時に救援組織を立ち上げ復興活動に取り組む。1996年、コミュニティサポートセンター神戸を設立。甲南女子大学非常勤講師、兵庫県立大学非常勤講師としても活躍中。

入場無料

ところ リージョンプラザ 文化

ホール

内容

基調講演

演題 震災を乗り越えて、再生から最盛へ、地域の底力

講師 中村順子さん

事例発表

① 糀谷節夫さん(小坂町防災会 会長)

② 原田照美さん(NPO法人沼田まちづくり協議会 理事長)

パネルディスカッション

コーディネーター 岐美宗さん(国)

問い合わせ先

まちづくり推進課(☎08486184 FAX08486199)

立広島商船高等専門学校 教授  
パネリスト 小川和子さん(三原市ボランティア・市民活動サポートセンター ボランティアコーディネーター)、兼本達雄さん(本郷町町内会長連合会 会長)、糀谷節夫さん、五藤康之(三原市長)  
コメンテーター 中村順子さん

\*\*\*\*\*

問い合わせ先

まちづくり推進課(☎08486184 FAX08486199)